

## 日本赤十字社診療放射線技師会 創立 70 周年記念

石田 智広

令和 6 年能登半島地震により被災・避難された皆様、そのご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

このたびの日本赤十字社診療放射線技師会の創立 70 周年、誠におめでとうございます！  
70 年という長い歴史の中では、諸先輩をはじめとする多くの技師の方々がご尽力され、医療現場、被災地、海外派遣等の赤十字活動に貢献されて来ました。先人の数々の功績に敬意を表すると共に、これからも更なる活躍が継続される事を願っております。

私の本会執行部所属は創立 60 年を挟んだ 2007 年～2016 年の 5 期、10 年間に涉って役員を務めさせて頂きました。当時の会長は益井 謙会長（2 期）、清水文孝会長（3 期）でした。  
今では当たり前となっているサステナブルな SDGs、デジタルトランスフォーメーション（DX）を踏まえ、本会に大きな変革をもたらしたと記憶しています。紙ベースの会誌を電子化させ、会員相互間のネットワーク化、ホームページからの情報配信、バナー広告導入、会則の見直し、業務研修会→学術総会へ変更、ブロック活動の推進、活性化など様々な事を導入したと思います。今では全く当り前の事ですが、、。 役員会ではそれぞれの会長が強いイニシアチブをとって下さいました。その分役員は苦勞したかもしれませんが、自身に苦勞の記憶は無くとても楽しく充実していました。同期役員も皆同じ思いではないでしょうか。また、本会の人間関係は定年退職後の現在も続き人生を豊かにしてくれています。

役員時代に感じた事ですが、全国の赤十字病院にはそれぞれの分野で活躍する多くの診療放射線技師がいらっしゃる事に驚きました。有能、モチベーション高くやる気満々の人材の宝庫、全国赤十字はさすがと思ったものでした。かような専門知識と技術を持った会員の日々の努力研鑽の積み重ねによって、安心できる医療がなされ、医療現場で欠かせない信頼された存在になったのだと実感致しました。

これからも、日本赤十字社診療放射線技師会は、技術の向上と情報の共有を通じて、医療現場の発展と患者さんの健康、さまざまな赤十字活動へ貢献を続けていくことでしょう。

70 周年という節目で、これまでの成果を振り返りながら、80 周年に向けて一層の飛躍を目指し頑張ってください！

日本赤十字社診療放射線技師会の益々のご発展を心からお祈り申し上げます。